

# 行政視察報告書

令和 5年 12月 1日

長浜市議会議長 中川 勇 様

長浜市議会議員 中川 リョウ

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 視察等名 令和4年度産業建設常任委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和5年11月22日(水)～11月24日(金)
3. 視察場所及び目的
  - ①福島県会津若松市  
「ARを活用した観光誘客について」
  - ②宮城県仙台市  
「防災意識の醸成と対策」
4. 調査内容感想等

---

・視察の目的令和5年11月22日(水) 14:00～

---

令和5年11月22日(水) 14:00～

---

会場；観光課、市内七日町、鶴ヶ城

---

「ARを活用した観光施策」

---

・視察の内容

---

基本的な考え方

---

若松城は歴史文化と観光周遊を結びつける市内広域を活性化させるエンジンと

---

なる拠点を目指す。

---

鶴ヶ城がキラーコンテンツとして認識

タッチパネル等で街中へ誘導

---

■AR 導入に至った経緯

---

七日町で音声 AR を導入

---

会津若松市ナイトタイムエコノミー推進協議会が主体

---

新型コロナウイルス感染症時期に夜間観光コンテンツと導入。

---

店舗混雑情報システムと合わせて 40 万円 エイベックス社の技術を活用

---

■周遊事業

---

「時を超えた新撰組との出会い」～幕末に生きる男たちの物語

---

新型コロナウイルス感染症時期に音声 AR 導入、史跡とのミックス

---

ナイトタイムエコノミー 夜間の回遊性を高める目的で活用している。

---

東山芸妓キャラバン…東山芸妓が夜間に市内飲食店を訪問

---

極上のはしご酒…市内 k 宿泊施設に宿泊されたお客様限定で対象店舗を中心に

---

税込 1000 円で堪能できる。月 370 件ほどの利用がある。

---

裏会津チャンネル…城下町を舞台にして肝試しを音声 AR を活用して実施。市

---

内 50 箇所が対象

---

他にもライトアップ、ナイトミュージアム（博物館の夜間公開）なども実施。

---

■お城のリニューアル 年間 60 万人

VR、AR を導入、

基本的な考え方

若松城は歴史文化と観光周遊を結びつける市内広域を活性化させるエンジンとなる拠点を目指す。

来場される 20 代 40 代の観光客を取り込むために実施

文化観光、春、秋が繁忙期となるがオールシーズン通して来場していただきたい。

手法としてデジタルを活用。令和 4 年度審査会で決定

文字等だけによる展示ではなく、映像音声を活用する

文献の焼失や文化庁への復元の難しさなども考慮している。

全国公募で 3 者の応募があった。

#### ■今後の ICT の活用について

話題性、効率性が良い

ICT 企業が入居している施設があるため、フィールドを提供して「バイオメトリクス」を活用して東山芸妓の踊りを再現

アバターを得意とする企業と連携して観光スポットでアバターを活用した案内に挑戦する

市内企業の活用は必須

#### ■インバウンド対策

市内宿泊 25000 人、コロナ禍を経て取り組みを実施

台湾、タイ、欧米をターゲット、

台湾…新潟空港を核に、仙台空港、新潟市、佐渡市、会津若松市 3 市連携で観光スポットを結びつけて売り込みをしている。

タイ…ホストタウン、現地の旅行代理店と契約をして直接売り込み、現地 SNS を活用

欧米…武家文化、お城、「侍」コンテンツを活用してカムイさんに出演をお願いし、プロモーション事業を現地で展開。

9 月 台湾 160%、タイ 50%、欧米 30%

#### ■二次交通

会津ぐるっとカード事業

近隣の市町村、鉄道、バス事業所と 2 日間乗り放題事業を実施 大人 2720 円  
子供 1360 円

観光 Maas 事業 年間 5000 名が利用 紙カードで対応

今後はデジタル化を進める。

消費単価を上げる、オールシーズンを通して平準化を図る

教育旅行を月を指定してお願いする、ワーケーションなど平日需要を創出、取り込みをしている。

- ・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

本市においても小谷城博物館のリニューアルを控えており、今回の AR 以外でも観光先進地の例を活用していきたい。

- ・視察の目的

令和 5 年 11 月 23 日 (木) 13 : 00 ~

会場 : 震災遺構 荒浜小学校、名取市震災復興伝承館

「防災意識の醸成と対策」

- ・視察の内容

仙台市立荒浜小学校 (せんだいしりつ あらはましょうがっこう) は、1873 年から 2016 年まで宮城県仙台市若林区にあった公立小学校である。校舎は 2011 年の東日本大震災で被災し損傷。2017 年 5 月より震災遺構として公開されている。

当時のままの姿を拝見し、語り部の方に当時のことやこれまでの経緯について説明を受けた。地震発生から避難、津波の襲来、救助されるまでの経過を写真や映像で振り返るとともに、災害への備えについて学ぶことが出来た。また、荒浜地区の歴史や文化、荒浜小学校の思い出なども紹介されており、児童を津波から守れた教訓や防災教育を各教室を分けて学ぶことができる。

1 人も犠牲者を出さなかった要因は優れた学校長だとお聞きした。日々の教員への防災意識の向上と訓練の必要性を痛感した。

名取市震災復興伝承館では東日本大震災の記憶及び教訓を世界各地そして後世に伝承し、震災を風化させることなく、防災意識を醸成していくことを目的とされている。これまでの多くのご支援に感謝し、語り部や防災活動をする地域住民と共に、自然災害に強い社会実現の一助になるよう取り組んでおられる。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

防災意識の醸成の推進、震災後の防災への取り組みは近年の災害激甚化を受けてこれからの長浜市の防災体制整備に活用するべく今回の教訓を実践していく。